

平成31年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王北小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・(数学)／(英語)に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。(英語・理科は、3年に1度の調査となります。)

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数ともに、その平均正答率は、全国と同程度であり、どの領域も一定の定着がみられます。
- ・国語の領域別では、特に「読むこと」について全国平均を上回り、目的に応じて、文章の内容を的確に読み取ることなど、日頃からの読書活動の取組の成果がみられます。一方で「書くこと」については、図表やグラフを用いて自分の考えが伝わるように工夫して書くことに課題が見られます。
- ・算数の平均正答率は、全国を上回り、基礎的な学力が定着しています。「数と計算」について、棒グラフを読み取って何倍であるかを求めたり、示された計算の仕方を理解し除法を用いて計算したりする問題において、全国平均を上回りました。しかし、「量と測定」について、図形の面積を求める式の意味を説明する問題に課題が見られました。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「学校に行くのは楽しい」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」「毎日30分以上読書をしている」等について高い数値を示しています。特に週あたりの図書館利用の頻度については、全国値を大きく上回っています。
- ・課題となる項目
全国と同様に「自分には、よいところがある」と自信をもって回答した児童の割合が、他の項目に比べて低いです。「学校のきまりをどちらかというとな守っていない」「守っていない」とした児童が若干いることも課題です。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・ルールやマナーを守ることの大切さを、道徳や学級活動の時間を中心にして、引き続き指導していきま
- す。できるように促し、できたことをほめ、児童のよさのみとりに努めることで、一人一人の児童の自尊感情を涵養していきます。
- ・「書くこと」の学習では、校内研究の成果を生かしながら、授業の終わりにわかったことや思ったことを書く時間を設けて、書くことへの抵抗感をなくしていきます。
- ・学習内容の確実な理解と定着が図れるように、ドリル学習に加えて、友達と話し合ったり自分に問い続けたりしていく対話的で深い学びの授業改善に努めます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「自分は家族のために役立っている」と感じられるように、役割を与えてできたことをほめてあげてください。また頑張っていることを見つけて認めてあげてください。
- ・児童が落ち着いて学習に取り組めるように、配付してある学校生活のきまりや学習道具のきまりに再度目を通していただき、きまりを守れるように声をかけてあげてください。
- ・今以上に読書好きになるように、家族そろって家読の時間をもつようにしてください。